

## 地区別懇談会

本組合の地区別懇談会が2月14日～15日の2日間、4会場で開かれ、61人の組合員が出席（出席率34.27%）されました。

平成30年度事業においては、第28回JA北海道大会で決議された『自主的改革・前進を図るとともに、「力強い農業と豊かな魅力ある農村の実現」のため、「農業所得増大」、「担い手の確保育成」、「魅力ある地域づくり」を推進すること』を当組合でも協同組合運動の理念に基づいた活動を継続していく基本方針の説明がありました。また、29年度の収支見込み、各部の平成30年度事業計画をそれぞれ担当部長から説明致しました。

最後に平成30年度は第8次中長期計画の2年目となります。進捗状況を精査し、計画の実践に向けて関係団体、指導機関と連携しながら役職員一丸となって取組み、組合員や地域住民の皆様信頼される、利用される、満足されるJAづくりを進めていくことを報告し、2日間の日程を終了しました。



## 青年部・職員交流会

1月27日に青年部と職員との交流会がスズランボウルで開催されました。毎年行われているこの交流会は、青年部と若手職員との交流の機会を多く持つ目的で行われており、今年は27名が参加しました。青年部と職員が混合となるグループで、2ゲームのボウリングを通して交流を深めました。

青年部長の挨拶と始球式で幕を開けたボウリング大会は序盤からカーブボールや剛速球が飛び出す好勝負が繰り広げられました。グループ内で投げ方のアドバイスをしたり、スコアの近い人と互いに競い合ったり、ストライクやスペアが出る度に盛り上がりを見せ、笑顔

の絶えない賑やかな雰囲気の中で大会を終える事が出来ました。

その後場所を移した懇親会は、普段あまり話す機会の無い青年部員と職員の親睦を図る良い機会となり、有意義なひと時を過ごす事が出来ました。



## 青年部道外視察研修

2月13日～15日にかけて当農協青年部による道外視察研修旅行が東京方面で開催され、13名の部員が参加しました。

研修初日、羽田空港到着後バスで今回の視察のメインである「大田市場」に移動し、市場職員から説明を受けました。

大田市場は昭和56年度に策定された第3次東京都卸売市場設備計画に基づき、青果・水産・花卉を取り扱う総合市場として建設されました。市場の特徴は、大田区の臨海地域で、約40万平方メートルの広大な敷地を有し、南側には羽田国際空港、東側には東京湾、北側にはJR貨物基地、真ん中を貫くように首都高速湾岸線が通っており、物流の拠点として申し分ない環境の中で市場業務を展開しており、特に青果部及び花卉部は、施設規模、取扱量ともに日本最大規模の市場です。

説明を受けた後、場内見学をしましたが、あまりの広さ（東京ドーム9個分）に部員達は「どこまで続くんか」と困惑するなど、日本最大規模の市場に圧倒されている様子でした。普段見る事のできない日本最大規模の市場を見学することができ、部員達は「貴重な体験をすることが出来てよかった」と話し、1日目の研修は終了しました。

2日目は終日自由行動となり、各自、観光や買い物を楽しみました。

最終日は、東京スカイツリーに足を運びました。当日は雲一つない天候で450メートルの展望台から見る景色を楽しみました。その後浅草に移動し、雷門、仲見世、浅草寺を散策しました。

次に蛸人形で有名な「マダム・タッソー館」を訪れました。館にはハリウッドスターやミュージシャン、歴史上の偉人、スポーツ選手など、世界の超有名スターやセレブたちの等身

大フィギュア60体以上が展示されていて、一見すると本物と見間違えるようなフィギュアばかりで部員は驚きを隠せない様子でした。部員達はフィギュアと同じポーズで写真を撮るなど盛り上がりを見せ、道外視察研修旅行を楽しみました。

2泊3日の日程で行われた今回の研修旅行でしたが、怪我や体調不良もなく、皆さん満足の様子で無事終了しました。

## 料理サークル 1月例会

1月16日に料理サークルの「1月例会」が農協2階会議室にて開催され、9名の部員が参加しました。今回の例会は「持ち寄り昼食会」ということで個人個人が腕を振るった料理を全員で試食しました。

ごはん物からお惣菜、デザートまで全て手作りで、料理を並べたテーブルは華やかに彩られました。皆さん腕を振るった料理はどれもボリューム満点で、部員の皆さんは「食べきれない」と笑いながら話していました。



どの品も味・出来栄え共に大満足のいく料理で、部員の皆さんは料理を楽しみながら談笑し、1月の例会を終えました

## 女性部 つどいの会

2月5日に女性部恒例「つどいの会」が農協2階会議室にて開催され、10名の部員が参加しました。今回は普段皆さんが使用している「農作業帽子作り」講習会を行いました。

皆さん各自で愛用のミシンを持ち込み、本格的な農作業帽子作りとなりました。講師が事前に作った農作業帽子を参考にしながら作業を進めました。複雑な作りの農作業帽子に皆さん悪戦苦闘していましたが、講師が見て回ったり、「ここはもっとこうの方がいいんじゃない？」と周りで教え合ったりしながら作業をし、完成に向け一生懸命作っていました。



無事、全員が作業時間内に完成することができ、完成した農作業帽子は皆さん違った色で個性を出し、まるでお店で売られているものと遜色ない出来栄えでした。必需品である農作業帽子を自分の手で作り、皆さん大満足の様子でした。

講習会の後には十勝川温泉観月苑にて懇親会が行われ、29年度の女性部の活動を振り返りながら親睦を深めました。

## 女性部友の会 サークル活動

1月19日に農協2階会議室にて、女性部友の会サークル活動が開催され、10名の部員が参加しました。今回は「籠作り」講習会を行いました。

針も糸も使わずに作れるクラフトバンドを使い作りました。パッと見は天然素材の様に見え、素朴な雰囲気があります。また、紙製とは思えないほどの強度を持っています。

作り方はテープを交互に編み込んでいき、籠の底面から作っていきます。底面が出来たら洗濯ばさみで仮止めしながら側面を編んでいき、完成という流れです。最初は皆さん編み方のコツがわからず悪戦苦闘していましたが、コツを掴むとスムーズに編み込めるようになっていました。参加者の中には時間内に2つの籠を完成させる人もいました。

皆さん楽しみながら、オリジナルの色と模様の籠を作成し、大満足の様子でした。

サークル活動後場所を移して新年交流会が行われ、29年度の女性部友の会の活動を振り返りながら懇親を深めました。



## さくらんぼの会 年賀状作り

12月22日、農協2階会議室にて、さくらんぼの会による年賀状作りが行われました。

毎年、組合員家庭で80歳以上の方に手作り年賀状を出しており、今年も「押し花」で年賀状を作りました。一枚一枚丁寧に花を並べる作業は根気のいる作業で、皆さん手元に集中しながら、気持ちを込めて作成しました。

完成した年賀状はどれも色鮮やかで素敵なものが出来上がりました。



## 銀鈴会 冬期研修会

12月14日～15日の日程で銀鈴会の冬期研修が幕別町パークホテル悠湯館にて行われ、21名が出席しました。

研修では、『認知症にならないために』『高齢者に対するの対応について』の2つの講演会と『健康体操（脳の活性化による運動）』を行い、講演会に介護老人保健施設あかしやから、健康体操に幕別町教育委員会からそれぞれ講師を招き、認知症について学びました。

健康体操ではスポーツのトレーニングなどで使用する「ラダー」という紐に棒がついたはしご状のトレーニング器具を使用しました。頭で考えながら体を動かすことで脳を活性化させるトレーニングとなるだけでなく、レクリエーションとしても楽しむことができ、皆さん率先して取り組んでいました。

夜には懇親会が行われ、会員同士談笑しながら交流を深めることができ、充実した冬期研修会となりました。



## I C T 技術研究会 設立総会

1月30日、農協2階会議室にて、I C T 技術研究会設立総会が行われ、29名の組合員が参加しました。

今回参加者は、GPSを利用した技術などの説明を受けました。技術としては、ガイダンスモニターを取り付けたトラクターでの自動操縦を可能とした技術により運転者の負担が軽減されるだけでなく、掛け合わせ、敵あわせを正確に行うこともできます。

参加された組合員の皆さんは、新しい技術に興味津々な面持ちで話を聞いていました。



## 年金相談会

2月21日、農協2階会議室にて年金相談会が開催されました。

毎年2月に当農協で行われている相談会では、専門講師の方をお呼びして、これから年金をお受取りになる方の疑問や相談にお答えして頂いています。



1組30分程度の時間で個別に話が聞ける良い機会という事もあり、毎年定員数の方が参加されています。

今年は8名の方が参加し、「請求書の書き方は?」「いつから年金はもらえるの?」「手続きの詳しい方法は?」といった自身の持つ年金に関する疑問を講師の方と共に解決していました。